

Newsletter Vol.15

“Don’t let your learning lead to knowledge.

Let your learning lead to action.”

学びを知識に変えるのではなく、学びを行動へ繋げましょう。

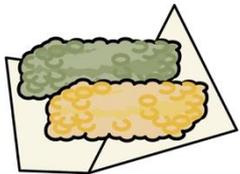
By Jim Rohn

GEP Quiz!

Question:

浅草で人気の土産物、
「雷おこし」はサクサクとした食感が人気で江戸時代中後期から売られました。
「雷おこし」の名前の由来はなんでしょうか？

(答えは裏面に記載)



班別自主研修で探究型の学びを実現



School Trip × ICT × International Students

班別自主研修の課題としてよく聞かれるのが、「観光して楽しむだけになってしまう」という声です。班別自主研修における観光体験に、ICTと留学生を掛け合わせ、好奇心を引き出す「テーマやミッション」を付与することで、国内でグローバルな視点や価値観に触れることができる。さらにはグローバルとの対比からローカルへの理解も深まる。今回はそんな探究型のフィールドワークの事例についてご紹介します。

異なる他者の視点に立って、自分たちの当たり前を見つめ直す

フィールドワークでは、生徒たちに目的意識が生まれるよう、テーマやミッションを設定します。今回のテーマは「ユニバーサルデザインとおもてなし」。公立高校2年生120名が浅草を舞台に体験しました。生徒たちに与えられたミッションは2つ。その1つが、自分たちの学校を異なる文化背景を持つ生徒にとっても快適な場所にするために、参考になる「ユニバーサルデザインとおもてなし」を浅草で探すことでした。

日本有数の観光地「浅草」で、外国人をはじめとする観光客が快適に安心して観光や滞在を楽しめるような環境の整備や取り組みを、留学生リーダーの視点を借りながら探しました。

フィールドワーク中に生徒たちが撮影した写真や動画は、コメントを添えて専用のスマホアプリに保存していきます。

もう1つのミッションは留学生リーダーへのインタビュー。「留学生リーダーには日本のおもてなしがどのように見えるのか」について留学生リーダーの生の声を聞き、浅草で自分たちの目に写る「おもてなし」について外国人の視点や気持ちで考えました。

あるグループでは留学生リーダーがハラル認証の看板を見つけて、生徒たちに説明をしていました。自分たちだけでは見過ごしてしまうものも、誰かにとってはとても大切なものであるということ、当事者である留学生の言葉により実感する場面でした。

以下は、フィールドワークを体験した生徒たちの感想です。

GEP Quiz! 答え

Answer:

「家を起こす」

「名を起こす」に

由来するそうです。

※諸説あります。

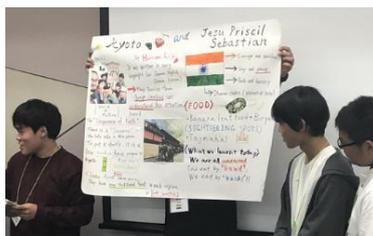
縁起物として人気のお土

産です。

留学生リーダーに説明する
るとどのような反応が返っ
てくるのでしょうか？

海外の縁起物についても
聞いてみる機会になるかも
しれませんね。

- 「おもてなし」は『HELP』
- この研修を通して、外国の人の文化について関心を持った。
- フィールドワークが楽しく、ポスター作成で学べることがあった。
- 英語で会話できなくてもジェスチャーなどでも伝わるんだと思った。
- 始まる前、英語は話せないと思うような抑制心が、終了前には足かせが外れていたような気がした。



おもてなしは相手を知る事から始まるということ、生徒たちは体験的に学び、異文化への関心を広げ、また留学生リーダーとのコミュニケーション体験から、ツールとしての英語の有用性を実感できたようです。

変化の始まりは、小さな気づきから

フィールドワークの醍醐味は、本物に触れて、感じたり確かめたりすることで、その本質に出会えることです。テーマとミッション、そして留学生リーダーとの協働を通じて、生徒たちは「見方を変えてみると、何か気づきや発見があるかもしれない」ということを実感することができます。また、ミッションを設定することで生徒同士や留学生リーダーとの会話を促し、探究が楽しくなり、やり遂げたという達成感を得ることもできます。視野の広がり、可能性の広がりにもつながる。私たちの探究型フィールドワークが、異文化を入り口に、日本や地元の文化の再認識、そして自分自身の将来について考えるきっかけとなれば幸いです。

この度は Newsletter 第 15 号を手にとりいただき、誠にありがとうございました。

これからも、日々増え続けている「学びの場面」の事例をピックアップしてご紹介させていただきます。

株式会社 LbE Japan(エルピージャパン) <http://www.lbejapan.co.jp> info@lbejapan.co.jp